研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-540		20-329	慶應義塾大学　加藤眞三

題名（原題／訳）

A new definition for metabolic dysfunction-associated fatty liver disease: An international expert consensus statement

代謝障害に関連する脂肪性肝障害の新しい定義。国際的な専門家によるコンセンサス・ステートメント

執筆者

Mohammed Eslam , Philip N Newsome , Shiv K Sarin , Quentin M Anstee , Giovanni Targher , Manuel Romero-Gomez , Shira Zelber-Sagi , Vincent Wai-Sun 他

掲載誌

J Hepatol. 2020 Jul;73(1):202-209. doi: 10.1016/j.jhep.2020.03.039.

キーワード	PMID
肝硬変、糖尿病、診断基準、MAFLD、メタボリック、NAFLD、肥満、脂肪性肝炎。	32278004

要　旨

これまで、代謝性機能障害に伴う脂肪性肝疾患（MAFLD）の診断には、アルコールの過剰摂取を含む他の慢性肝疾患を除外する必要があった。しかし，現在の MAFLD の病態の理解とその有病率の上昇を考えると，MAFLD を診断するための「ポジティブな基準」が必要である。本研究では、22 カ国の国際的な専門家からなるパネルが、包括的かつシンプルで、他の肝疾患とは独立した MAFLD の診断のための新しい定義を提案している。その基準は、次の 3 つの基準、すなわち、過体重／肥満、2 型糖尿病の存在、または代謝異常の証拠のいずれかに加えて、脂肪肝の証拠に基づいています。私たちは、疾患の評価と重症度の層別化は、脂肪性肝炎と非脂肪性肝炎という単純な二分法による分類を超えて行われるべきであると提案している。また、MAFLD に関連した肝硬変を定義するための一連の基準を提案し、脂肪肝の他の原因を考慮するための概念的枠組みを提案している。最後に、診断基準と研究や臨床試験の組み入れ基準の区別を明確にしている。MAFLD の診断基準についてコンセンサスを得ることは、ICD コーディングなどの用語を統一し、臨床現場や臨床試験の正当性を高め、臨床医療を向上させ、肝臓研究の臨床的・科学的分野を前進させることにつながる。